形成外科　Plastic and Reconstructive Surgery

福岡中央病院
FUKUOKA CENTRAL HOSPITAL

2021年4月より、形成外科を開設いたしました
診察日は毎月第1月曜日です
どうぞご利用くださいますよう、よろしくお願い申し上げます

つぎのようなお悩みの方やご希望のある方は、ぜひ、ご相談ください

- **加齢に伴うまぶたのタルミ（眼瞼下垂）**
- **乳がん術後の乳房再建術**
- **キズの悩み**
- **形成外科・美容外科に関するセカンドオピニオン**

主な検査・治療等

- 形成外科手術
- 美容外科手術

形成外科

大慈弥（おおじみ）　裕之（ひろゆき）

現職
北里大学形成外科・美容外科　客員教授
NPO法人自由が丘アカデミー　代表理事

略歴
福岡大学医学部形成外科学講座　前主任教授
日本形成外科学会名誉会員
日本美容外科学会（JSAPS）　前理事長
日本抗加齢医学会　理事
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会　前理事長

専門
- 眼瞼下垂症手術
- 小児科形成外科
- 乳房再建術
- 美容外科

形成外科（けいせいげか）診療のご案内

・当院では、加齢に伴う眼瞼下垂を中心に診療を行っています
・ものが見づらい、まぶたが重い、頭痛や肩こりなどの症状がある方は、遠慮なくご相談ください
・加齢に伴う上まぶたのタルミは、一般的に眼瞼下垂と呼んでいます
　これには二つの要素があります
・一つは、皮膚のタルミです。これは上眼瞼皮膚弛緩（じょうがんけんひふしかん）と呼ばれます
　上まぶたの皮膚が垂れ下がって視野を塞ぐ場合があります。もう一つは、まぶたを開く筋肉が原因となるもので、腱膜性眼瞼下垂（または退行性眼瞼下垂）と呼ばれます
・皮膚性でも腱膜性でも、眼瞼下垂になると、ものが見づらい、まぶたが重いといった症状の他に、頭痛や肩こりを伴う場合があります。眼瞼下垂は、見た目や表情にも大きく影響します

大慈弥ほか. 形成外科61巻増刊号, 2018より引用